

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR H 作業班（第 3 回）議事要旨（案）**

- 1 開催日時：平成 25 年 7 月 25 日（木） 17 時 00 分～18 時 30 分
- 2 開催場所：経済産業省別館 8 階 850 会議室
- 3 出席者（順不同）

【構成員】徳田主任（東京大学）、松本主任代理（NICT）、雨宮構成員（NTT-AT）、長部構成員（VCCI）、田口構成員（NHK）、篠塚構成員（NICT）、垂澤構成員（NTT ドコモ）、三塚構成員（TELEC）

【オブザーバー】服部氏（NTT-AT）※オタワ会議出席のため、当作業班に出席。

【事務局】澤邊電波利用環境専門官、臼井電波監視官、黒田電磁障害係長、寺田官（総務省）

4 議事概要

(1) 事務局から配付資料の確認が行われた。

(2) 資料 3-1 前回議事要旨案について、修正意見等あれば 1 週間以内に事務局まで連絡することで、承認された。

(3) 資料 3-2 CISPR オタワ会議 SC/H 対処方針（案）及び資料 3-3 CISPR オタワ会議 SC/H WG1 対処方針（案）について、松本主任代理から説明があった。主な内容は以下の通り。

●共通エミッション規格 IEC 61000-6-3 及び IEC 61000-6-4 の改訂について

→FAR における床置き機器の試験に対して、従来から日本が主張してきた偏波別の許容値案が採用されており、これを支持する。

●GCPC の妨害波許容値案について

→太陽光発電用 GCPC の妨害波許容値設定モデルの妥当性について、WG1（共通エミッション規格のメンテナンスおよび許容値設定モデルを担当）へ寄与する。

※雨宮構成員：資料 3-2 の GCPC の妨害波許容値案について、SC/B 議長から SC/B と SC/H による JTF を立ち上げるといような提案がなされているようだが、状況を知りたい。

松本主任代理：SC/B と SC/H の JTF の立ち上げについては、賛成する国が 2 つしかなく見送られた。反対意見が多数あったため、議論が十分でないという結論となった。

(4) 資料3-4 CISPR オタワ会議 SC/H 関連会議参加者(案)について、特に異議なく承認された。

事務局参加者については、出席者が決まり次第、後日改めて、メール審議等で承認することとなった。

(5) 本日の審議結果を基に、電波利用環境委員会報告書を作成し、委員会において対処方針を審議することとした。

(6) 次回会合は未定。

以上